

# 製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社  
住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F  
電話番号 03-5566-8705 FAX番号 03-5566-8682  
作成 2004年 4月22日  
改訂 年 月 日

整理番号：

製品名 MANUGEL GHB

物質の特定 単一製品・混合物の区別  
：単一製品  
化学名 : アルギン酸ナトリウム  
含有量 : 100%  
化学式 : 不確定  
官報公示整理番号 : 化審法・安衛法  
：(化) : (8) - 237  
CASNo. : 9005-38-3  
国連分類及び国連番号 : 非該当  
P R T R法 : 非該当  
安衛法通知対象物質 : 非該当

危険有害性の分類 分類の名称 : 分類基準に該当しない  
危険性 : 可燃性の粉体  
有害性 :  
環境影響 :

## 応急措置

眼に入った場合 : 清浄な多量な水で洗浄する。  
コンタクトレンズはすぐ取り外す。  
異常が残るようであれば医師の手当を受ける。  
皮膚に触れた場合 : 水及び石鹼で洗い流す。  
吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移す。呼吸が困難な時は、酸素吸入をして、  
医師の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 : 吐かせようとしてはいけない。ゆっくり1~2杯の水又は牛乳  
を飲み、医師の手当を受ける。  
患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

## 火災時の措置

消火方法 :  
(1) 一般火災と同様の消火方法をとる。  
燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素、シアン化水素等が発生  
する恐れがあるので注意を要する。  
(2) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用す  
る。  
消火剤 : 噴霧水、泡(耐アルコール)、粉末、二酸化炭素

## 漏出時の措置

- (1) 粉塵が飛散しないように、掃き集めて回収する。
- (2) 水で洗い流す場合は、環境汚染の原因となる可能性があるため、排水系などへの流出しないようにする。

---

## 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： (1) 粉塵を発生させないようにして、吸入しないようにする。  
(2) 強酸との接触は避ける。  
(3) 作業所は整理整頓しておく。
- 保管： (1) 直射日光、水濡れを避け、貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。  
(2) 吸湿性の物質なので、使用しない時は容器は密閉しておく。  
(3) 貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

---

## 暴露防止措置

- 管理濃度： なし
- 許容濃度： 日本産業衛生学会勧告値 (2002年版)  
時間加重平均： 未設定  
粉塵の場合(第3種粉塵) 吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup>  
総粉塵 8 mg/m<sup>3</sup>
- ACGIH(2002)勧告値  
時間加重平均(TWA)： 未設定  
粉塵の場合(一般粉塵) TLV-TWA  
吸入性粉塵 3 mg/m<sup>3</sup>  
総粉塵 10 mg/m<sup>3</sup>

設備対策： 蒸気の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける

保護具： 保護マスク、保護メガネ、保護衣、等

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- (2) 健康診断を定期的実施する。
- (3) 安全衛生教育を実施する。

---

## 物理/化学的性質

- 外観： 白～黄褐色の粉体
- 高密度： データなし
- 沸点： 決定できず
- 融点： 決定できず
- 蒸気圧： データなし
- 蒸気比重： データなし
- 溶解度： 水に可溶
- その他： 微かな臭気、 pH = 中性 (1% 溶液)

---

## 危険性情報 (安定性、反応性)

- 引火点： 不適用
- 発火点： データなし
- 爆発範囲： データなし
- 反応性： 通常取り扱いでは安定。強酸との接触は避ける。
- 自己反応性： 特になし

粉塵爆発には注意する。

熱分解では一酸化炭素、二酸化炭素が発生する。

---

## 有害性情報

- 刺激性： 皮膚 ウサギ 刺激性なし。

	眼	ウサギ	刺激性なし。
感作性	:		データなし
急性毒性	: 経口	ラット	LD <sub>50</sub> LD50 5,000 mg/kg 以上
		吸入	ラット LD <sub>50</sub> (1hr) 4.7 mg/l 以上
亜急性、慢性毒性	:	経口	ラット 食餌中 5% まで悪影響なし。
		経口	イヌ 食餌中 15% まで悪影響なし。
発がん性	:		データなし
変異原性	:		データなし
代謝・排泄	:		データなし

#### 環境影響情報

生分解性	:	生分解性あり。
		BOD5 : ~ 300mgO <sub>2</sub> /g 、 COD : ~ 660mgO <sub>2</sub> /g
生態影響	:	悪影響を及ぼすデータなし。

#### 廃棄上の注意

- (1) 廃棄は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (2) 焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

#### 輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。
- (2) 輸送前に容器が密封されているかを確認する。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、梱包が破れないように水濡れや乱暴な取扱いは避ける。

#### 主な適用法規

特になし

#### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常取り扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願い申し上げます。

#### 参考文献

- 1) ISP TECHNOLOGIES INC. MATERIAL SAFETY DATA SHEET